

MACF 礼拝説教要旨

「イースター礼拝」

2023年4月9日

「十字架と復活による祝福」

聖書は私達の人生が「罪と死」の影響下にあることを教えています。

そして、その力は私達に不安をもたらし、絶望をもたらします。

最初の間が罪を犯した時から、それらの力が人生の中に忍び込んできてそれによって人生が翻弄されることになることと記されているのですがその最初の部分にこういう言葉が書かれています。

創世記3章15節

「彼はお前の頭を砕き

お前は彼のかかとを砕く。」

これは原福音と言われているのですが、キリストが蛇によって象徴されている罪と死の力に対して「頭を砕く」という「勝利宣言」が書かれています。ただし、蛇は「彼のかかとを砕く」とあり救い主も無難ではないことが指摘されています。

これが十字架の苦難です。

メル・ギブソンが制作した映画「パッション」の最初の部分に蛇が出てきて頭を踏み砕かれるという場面が出てきます。象徴的にこの創世記の言葉が表現されているのです。

1) 十字架による死と復活によるいのち

イエス様は全人類の罪を担って十字架にかかり、そこで全人類の総代として「罪と死」についての清算をしてくださいました。

身代わりの死、身代わりの裁きがそこでなされました。

神に見捨てられるほどの孤立した「死」は全人類がもたらした罪の報酬です。

イエス様はそれを通過されました。

まさに「かかとが砕かれた」ような出来事です。

しかし、神はキリストをよみがえらせ、肉体を越えた命の中に

引き上げてくださいました。いわば栄光のからだによみがえったのです。

そして、そのいのちは「赦しと希望」の象徴でもあります。

その「罪の赦しと死に打ち勝つ希望」がイエス様の十字架によってわたしたちにもたらされたのです。

大きな祝福です。

2) わたしたちにもたらされた祝福

パウロが書いた文章を何箇所か拾ってみました。

ローマ 8 章

10 キリストがあなたがたの内におられるならば、

体は罪によって死んでいても、“霊”は義によって命となっています。

11 もし、イエスを死者の中から復活させた方の霊が、

あなたがたの内に宿っているなら、キリストを死者の中から

復活させた方は、あなたがたの内に宿っているその霊によって、

あなたがたの死ぬはずの体をも生かしてくださるでしょう。

ガラテヤ 2 章

19 わたしは神に対して生きるために、律法に対しては律法によって死んだのです。わたしは、キリストと共に十字架につけられています。

20 生きているのは、もはやわたしではありません。

キリストがわたしの内に生きておられるのです。

わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、

わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。

コロサイ 3 章

1 さて、あなたがたは、キリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の

座に着いておられます。 2 上にあるものに心を留め、地上のものに

心を引かれないようにしなさい。 3 あなたがたは死んだのであって、あなたがたの命は、キリストと共に神の内に隠されているのです。」

イエス様への信頼を心の中に持ったら

1) 死ぬはずの体をも生かしてくださる

2) キリストがわたしの内に生きておられる

3) あなたがたの命は、キリストと共に神の内に隠されている

現実的には、わたしたちは年老いたり病んだりして死ぬ日を迎えます。

イエス様を信頼していることで、その肉体的な「死」が新しい

「神とのいのち」のはじまりとなります。

さらに、日々、老いていき、弱くなりますが、イエス様がわたしたちのうちに生きていてくださるので、喜びや希望や愛を心のなかにしっかりと自覚させ成長させてくださいます。

イエス様の復活の不思議は「単にこの肉体が死から蘇生した」というものではなく「死そのものを滅ぼして、もはや死を乗り越えてしまった栄光のいのち」へと復活されたというところにあります。

ある意味でラザロは死にましたが蘇生しました。でも、やはりその後、死にました。

しかし、イエス様の場合、たしかに死なれて墓に葬られましたが三日目に「死そのものを滅ぼしてしまういのち」へとよみがえられたのです。

そして、そのいのちを私達に提供してくださっているのだということなのです。

それは、まさに「神さまの手の中にしっかり支えられ、生かされている状況」と考える事ができると思います。

今、どんな状況にいても、わたしたちの存在そのものがイエス様のおかげで「神さまの手の中にしっかり握られて生きられる」というのです。その神さまとの永遠のきずなが形成されたのです。

罪と死という断絶の壁が壊されて、神さまの霊的な祝福を際限なく受け取れるようになったのです。

私達のいのち、そのものが神さまのいのちの中にしっかりと預けられ納められて、守られているのです。

コロサイの信徒への手紙の中のパウロの言葉は本当に心に響きます。

3章3節

あなたがたは死んだのであって、

あなたがたの命は、キリストと共に神の内に隠されているのです。」

そして、キリストは生きておられるのです。

私達の生活の真っ只中に生きておられます。私達のいのちはその御方のいのちの中にすっぽりと納められ、守られているのです。

深い安心がそこにあります。

それらはすべて、十字架と復活によってもたらされ、届けられている祝福なのです。

イエス様とあなたとの関係性、イエス様の十字架と復活とあなたとの関連性、イエス様があなたに何をしてくださったのか、何を言ってくださっているのかそういうことを心静かに思い巡らす礼拝になりますように。

MACF 礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/BdtnVjzz5BE>